

企業名： 株式会社イオンファンタジー

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

子どもの笑顔を増やし健康的な成長を促すことを目標として、利益獲得以上の社会的な貢献を目指していることが理解できた。報告書で繰り返されている「子どもたちの夢を育み、“えがお”あふれる世界をつくる。」というイオンファンタジーのパーパスが、非現実的な目標ではなく、社員が使命感と当事者意識をもって実現し、企業の存在理由を模索するための指針となっていることが伝わった。イオンファンタジーは、当社が目指す社会価値・重要課題として、「気候変動への対応」「循環型社会への取り組み」「子どもたちの未来への貢献」「従業員がいきいきと働ける環境づくり」「地域社会とのコミュニケーションの深化」「コーポレート・ガバナンスの強化」を挙げているが、これらが企業の見えない資産や持続的な成長につながりうると考える。

これらの経営姿勢は、2021年就任の現社長藤原氏の「社長メッセージ」から顕著に感じられた。就任後すぐに革新的な取り組みに取り組んでいることや、藤原氏自身イオンファンタジーでアルバイト経験があり、広範囲の社員の意見を重要視していることが伝わる。社是を新しく「パーパス」へと昇華したり、今回2022年に初めて統合報告書を作成したりするなど、経営の透明性の向上や経営指針の共有に意識を向けていることがわかり、信頼性が高いと感じた。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

イオンファンタジーは年齢の低い子ども向けの事業が中心であり、そもそも競合が少ない。この点でまず差別化が図れているといえる。また、イオングループの傘下にあるため、出店場所を得やすい点、顧客に安心感を与える点、ブランド力が強い点に優位性を見出すことができ、新規参入の脅威を小さくすることができる。さらに、オンラインでの遊びの場の提供や最近流行りのカプセルトイの販売店など、社会の変化や流行に合わせる経営戦略もうかがえる。

イオンファンタジーは、子どもに保育園・幼稚園とは別の交流の機会を与え、その財力を生かして多様な遊び方、遊具を提案できる。また、従業員の目が行き届くため、公園よりも安全に遊ぶことができ、保護者に自由な買い物の機会を提供できる。イオンファンタジーに足を運ぶメリットとして、これらを挙げることができるだろう。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

イオングループの傘下にあるため経営に安心感があり、今後も室内遊戯施設のトップであり続けることは可能であると思う。また、地球温暖化に伴う気温上昇の影響もあ

り室内遊戯施設の需要は高まると予想され、持続性は高いと考える。

一方で、子どもの遊び方の変化などにより業界が縮小傾向にあるとも考えられる。さらに、少子化に伴いイオンファンタジーを利用しうる顧客数は必然的に減少する。子どもが親の手から離れて遊ぶ場を作るという意味で子育てを助け、少子化の解決に貢献する可能性をもった事業であるとも思うが、顧客が子どものため、少子化の悪影響も受けやすい企業である。海外展開などは利益拡大にはつながりそうではあるが、その問題にどう関わっていくのか具体的な方針が知りたいと思った。社会問題の解決に向けて、日本での拡大、業界発展にも期待したい。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できると思う。

- ・新プロジェクトのリーダー・メンバーに若手社員を採用
- ・2020年から、現場から提案を募り優れたアイデアは即実行するとともに、全国に水平展開する「チャレンジ提案制度」を拡大
- ・2022年から、プロジェクトメンバーに選ばれたことでプラス査定される新しい評価制度を導入

以上のように、従業員の意見を積極的に取り入れるための工夫がなされ、それが従業員にも伝わってモチベーションをあげることにつながっていると考える。若手に活躍のチャンスがある会社であり、積極性や独創性、発想力といった面で自分を磨くことができると思う。また、保育士・幼稚園教諭資格やCSインストラクター、エンタメリーダー、電気工事士などの社内資格制度が複数あり、自身のスキルアップも可能である。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

イオンファンタジーの社風に合ったワクワク感が伝わる内容、レイアウトである。経営の透明性も高い報告書であると思ったが、一方で少し楽観的に感じる部分もあった。統合報告書は見えない資産を知るために用いることができ、その点はよく伝わるため十分だが、その資産が利益につながる過程はもう少し具体的に知りたいと思った。

また、前述したように、少子化問題に伴い持続的な経営に不安が残る。海外展開は大きな可能性があると思うので、その点に関する紹介を増やしてもよいと思った。

以前からイオンファンタジーを認識していたが、私自身は幼少期あまり利用したことがなかったため、統合報告書を通してその概要や事業展開を少しだけでも学ぶことができ、大変興味深かった。社内の活発な意見交換を推進していることや、環境問題への活動に積極的であることなど、イオンファンタジーを利用する子どもとの直接の関わり以外でも、子どもの未来のための活動に尽力していることが伝わり、一番の顧客を子どもとする企業として、明るく透明度の高い、希望を感じる企業であると思ひ感銘を受けた。